

持ち物

表の中にあるものは、どんなに小さなものでも、**必ず1つ1つに名前を書**いてください

用意✓	名前✓	持ち物	数	保護者の方への備考 ※スキー用品はしおり7ページ参照。	
		当日受付へ	参加カード	1	初参加または今年度初回の方は、事前に送付いたします。
			リフト代	1	小学生 6000 円、中学生 12000 円。名前と金額を封筒表面に記入。
		当日班付へ	健康チェックシート	1	しおりに同封しました。ホームページよりダウンロードも可能。
			持薬(酔い止め含む)	日数分	必要な人のみ。健康チェックシートに内容を記入。
		当日バスへ 持ち込む物	小さいリュック	1	大きなリュックの中には入れず、集合時には別になっていること。
			参加のしおり	1	
			弁当	1	初日分。バス車内で食べるため、おにぎりなどの食べやすいもの。 容器は小さく処分できるものを利用。
			水筒(お茶か水)	1	バス車内用。片道で飲む程度の量が入る、本体が小さくて軽いもの。 ペットボトル不可。水筒もリュックの中へ。復路分のお茶は現地補充。
			ウェットティッシュ	1	おしぼりとして。
			ハンカチ・ティッシュ	適当	
			大きなリュック	1	両肩で背負うことのできるもの。キャリアバック不可。※宅配便→保護者資料参照。
		スキーウェア	1	しっかりとしたフード付きで、上下に分かれたもの。※しおり7ページ参照。 スキーズボンのすそが、スキーブーツの上にかぶせられるようなもの。	
		長靴またはスノーブーツ	1	足首から雪が入るのを防ぐため、できるだけ丈の長いもの。 スキー以外の活動で屋外に出るときに着用。集合解散時に着用でも可。	
		帽子	1	防寒用の暖かいもの。耳まで隠れるものがなお良い。	
		手袋	1	防寒用の暖かいもの。ミトン不可。	
		スキー用の手袋	2	防水であること。ミトン不可。翌日までに乾かない場合に備えて2つ用意。	
		スキー用のヘルメット	1	自分の物を使いたい人のみ。※全員を対象に、アルプで無料貸し出しあり。	
		スキー用のゴーグル	1	顔の大きさに合ったもの。ケガ防止のため、サングラス不可。	

	スキー用のフリースまたはセーター	1	
	スキー用のアンダーウェア	2	下着の上に着るもの。ハイネックがあたたかくておすすめ。
	スキー用のアンダータイツ	2	スパッツの代用でも可能。
	スキー用の靴下	4	厚手で、あたたかい素材のもの。
	着替え	3組	アウターのシャツ・ズボン(スカート不可)・下着上下・靴下で1セット。 普段着ているような衣類(ロッジ内は暖房完備)。
	パジャマ	1	普段着ているもの(ロッジ内は暖房完備、就寝時に着替え)。
	タオル 30cm 1 2のタオル共にこのくらい の大きさのタオルをご用意 ください 80cm	2	① 薄手のタオル→温泉でもらうような薄手のタオル。長さ80cm幅30cm くらいの大きさ。入浴の際洗い場でこのタオルで体を洗い、脱衣所に出る前 に体を拭くもの。※集団での入浴の際には体を拭いてから出るのがマナー。 ② 洗面後に顔を拭くなど、通常のタオルとして使う。
	スポーツタオル	1	バスタオルとして入浴後に体を拭く。濡らしては使わない。
	ハミガキセット(ハミガキ ハブラシ コップ)	1ずつ	感染予防のため。うがいコップも必須
	ビニール袋	3	レジ袋の大きさ。
	大きめのビニール袋	2	45リットルくらいの大きさ。汚れ物用。
	筆記用具	1	鉛筆、消しゴム。
	予備のマスク	4	感染予防のため、記名必須。
	おこづかい(1000~2000円くらい)		おみやげを買う程度(金額はご家庭の判断で)。 必ずお財布に入れること。低学年は、首からかけられるものが便利で安全。 ※宿舎到着後に回収、最終日の買い物の時間まで保管。

最後にチェックしましょう!

- ✓ 全部用意はできた?
- ✓ 全部に名前が書いてある?
- ✓ リュックに自分で入れられる?
- ✓ どこに何が入っているか、わかる?

【保護者の方へ】

- ・荷造りは必ずお子様と一緒にしてください。どこに何が入っているか、新調したのものも、確認をお願いします。
- ・入浴用のせっけんやシャンプーは、宿に用意がありますので不要です。
- ・髪が長い場合は、髪ゴムをご用意ください。活動中や食事中は髪を束ねます。束ねる際はお手伝いいたします。
- ・おやつ、おもちゃ、本、遊び道具、交通系ICカード、携帯電話はお持ちにならないでください。
- ・個人の持ち物の不備による事故や怪我は責任を負いかねます。